

平成 30 年 3 月期 連結業績 及び 平成 31 年 3 月期 連結業績予想の説明

当概要は「平成 30 年 3 月期 決算短信」「2018 年 3 月期 決算参考資料」「営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」「剰余金の配当に関するお知らせ」に基づいた説明です。

1. 平成 30 年 3 月期（2017 年 4 月～2018 年 3 月）の連結業績の説明（前期比較）

● 通期の連結損益計算書について

	前期	当期	増減
売上高	4,890 億円	1 兆 556 億円	5,665 億円
売上総利益	1,988 億円	4,035 億円	2,046 億円
（売上総利益率）	（40.7％）	（38.2％）	
営業利益	293 億円	1,775 億円	1,481 億円
（営業利益率）	（6.0％）	（16.8％）	
経常利益	503 億円	1,993 億円	1,489 億円
（経常利益率）	（10.3％）	（18.9％）	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,025 億円	1,395 億円	370 億円
（親会社株主に帰属 する当期純利益率）	（21.0％）	（13.2％）	

（売上高の説明）

Nintendo Switch では、全世界でハードウェアの販売が好調に推移し、当期の販売台数は 1,505 万台となりました。ソフトウェアでは、『スーパーマリオ オデッセイ』が世界中で人気を博し 1,041 万本の大ヒットを記録しました。加えて、『マリオカート 8 デラックス』が 922 万本、『Splatoon 2』が 602 万本を販売するなど、当期のミリオンセラータイトル数は、ソフトメーカー様のタイトルを含めて 12 タイトルとなりました。これらの結果、ソフトウェアの販売本数は 6,351 万本となりました。

ニンテンドー3DS では、ハードウェアの販売は、Nintendo Switch の発売後も各地で堅調に推移し、当期における販売台数は 640 万台となりました。ソフトウェアでは、『ポケットモンスター ウルトラスン・ウルトラムーン』が 751 万本の販売を記録するなど、販売本数は 3,564 万本となりました。

ゲーム専用機におけるデジタルビジネスでは、主に Nintendo Switch でのデジタル販売が好調だったことにより、デジタル売上高は 608 億円となりました。

スマートデバイスビジネスでは、前期までに配信を開始した『スーパーマリオ ラン』や『ファイアーエムブレム ヒーローズ』に加え、当期に『どうぶつの森 ポケットキャンプ』の配信を開始しま

した。これらのアプリは国内外で多くのお客様に楽しんでいただいております。スマートデバイス・IP 関連収入等の売上高は 393 億円となりました。

これらの状況に加え、円安による為替の影響により、全体の売上高は前期に比べて増加しました。

(売上総利益および売上総利益率の説明)

売上総利益は前期比 102.9% 増の 4,035 億円となりました。売上総利益率が前期と比べ 2.5% 減少した要因は、Nintendo Switch の販売が好調だったことに伴いハードの売上構成比率が上昇したためです。

(営業利益および経常利益の説明)

営業利益が前期と比べ 1,481 億円増加した要因は、売上高の増加に伴い売上総利益が増加したためです。営業利益の増加により、経常利益は前期と比べ 1,489 億円増加しました。

- 当期の年間配当金について

配当方針に基づきますと、当期の 1 株当たりの年間配当金は 590 円となります。

2. 平成 31 年 3 月期（2018 年 4 月～2019 年 3 月）の連結業績予想の説明

平成 31 年 3 月期 通期の連結業績予想は以下の通りです。

- 通期連結業績予想

売上高	1 兆 2,000 億円
営業利益	2,250 億円
経常利益	2,300 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,650 億円

前提為替レートは、1US ドル 105 円、1 ユーロ 125 円としています。

- 通期連結販売数量予想

Nintendo Switch ハードウェア	2,000 万台
Nintendo Switch ソフトウェア	1 億本
ニンテンドー3DS ハードウェア	400 万台
ニンテンドー3DS ソフトウェア	1,600 万本

※ 各ソフトの販売数量予想は、ハードに同梱する数量を含みません。

※ 上記予想については「平成 30 年 3 月期 決算短信 (P15)」もご参照下さい。

今後は、Nintendo Switch では新しいあそびの提案として発売した「Nintendo Labo」に加え、6 月に『マリオテニス エース』を、人気シリーズである『大乱闘スマッシュブラザーズ (仮称)』を年内に発売予定です。9 月からは、Nintendo Switch のオンライン機能を拡充した有料サービス「Nintendo Switch Online」を開始します。発売済みの人気タイトルの販売をさらに伸ばすとともに、魅力あるタイトルを

継続的に投入し、プラットフォームの活性化を目指します。

ニンテンドー3DSについては、引き続き、より幅広い層のお客様に遊んでいただくことを目指します。ハードウェアの普及基盤と豊富なソフトウェアラインアップを活かし、定番タイトルの販売拡大に努めます。

スマートデバイスビジネスでは、これまでに配信したアプリをより多くのお客様に継続して楽しんでもらうとともに、『Mario Kart Tour』などの新しいゲームアプリの配信により、ビジネスの拡大に努めます。

これらの取り組みにより、任天堂ビジネスの新しい流れを確かなものにし、ビジネス全体の最大化を目指していきたいと思えます。

年間配当金の予想額に関しては、現時点で予想している通りの業績になりますと、1株当たりの年間配当金は690円となります。

当該説明に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果（実際の業績および配当予想額を含みますが、これに限られません。）は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。